学校番号	315

令和８年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽演習では、１・２年次の芸術選択や音楽経験は問いませんが、選択科目であることをふまえ、音楽のやや発展的な内容に取り組み、より高度な音楽表現をめざします。
・コード・ネーム等の実用性の高い音楽理論を学び、演奏の実践につなげます。
・歌唱、器楽については、基本的な知識・技能をより発展させ、より豊かで深い表現へつなげます。
・個人で取り組む活動、アンサンブルなどペアやグループで取り組む活動、合唱、合奏など講座全体で取り組む活動があります。
・音楽分野やジャンルによって苦手なこともあるかもしれませんが、その中でも自身の音楽的知識や技能を最大限発揮した音楽表現を目指し、アンサンブルや合奏では協力して調和のとれた音楽づくりを目指すなど、主体的・協働的に取り組んでくれることを期待します。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次の通り育成することをめざす。
（１）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現、調和のとれた音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、自己のイメージをもって個性豊かに音楽表現を創意工夫したり、他者と調和のとれた音楽表現をしたり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。
（３）主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解している。 創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現、調和のとれた音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽などで表している。	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、自己のイメージをもって個性豊かに音楽表現を創意工夫したり、他者と調和のとれた音楽表現をしたり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重する態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	コード・ネームの理論	【楽典】 ・コード・ネーム理論	a:コード・ネームの理論や主なコードの特徴を理解し、楽曲の演奏に応用するために必要な知識・技能を身に付けている。	小テスト		
	ピアノ・ギター弾き語り	【器楽】 ・ピアノ弾き語り(選択曲) ・ギター弾き語り(選択曲)	a:曲想とピアノ及びギターの音色や奏法との関わりについて理解し、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、演奏している。 b:音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、自己のイメージをもって個性豊かに演奏している。 c:表現活動の喜びを味わいながら主体的・協働的に活動に取り組もうとしている。	実技テスト	実技テスト	観察 振り返りシート
2学期	楽曲プレゼンテーション	【鑑賞】 ・楽曲プレゼンテーション「私のこの一曲」	a:曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解している。 b:音楽に関する知識を総合的に働かせながら、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いている。 c:主体的・協働的に活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重しようとしている。	プレゼンテーション 鑑賞シート	プレゼンテーション 鑑賞シート	プレゼンテーション 鑑賞シート

	合唱	【歌唱】 ・合唱(混声3部合唱)	a:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解し、調和した歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、演奏している。 b: 歌唱表現に関する知識や技能を総合的に働かせながら、全体の表現意図を理解し、調和のとれた歌唱をしている。 c:表現活動及び他者と音楽をつくり上げる喜びを味わいながら主体的・協働的に活動に取り組もうとしている。	実技テスト	実技テスト	観察 振り返りシート
	器楽合奏	【器楽】 ・器楽合奏(リコーダー、鍵盤ハーモニカ、ギター、ピアノ、鍵盤楽器、打楽器等)	a: 曲想とそれぞれの楽器の音色や奏法との関わりについて理解し、調和した演奏表現をするために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、演奏している。 b:器楽表現に関する知識や技能を総合的に働かせながら、全体の表現意図を理解し、調和のとれた演奏をしている。 c:表現活動及び他者と音楽をつくり上げる喜びを味わいながら主体的・協働的に活動に取り組もうとしている。	実技テスト	実技テスト	観察 振り返りシート
3学期	グループ・アンサンブル	【器楽】 ・任意の形態でアンサンブル(バンド形式、器楽アンサンブル、ヴォイスアンサンブル等)	a:様々な演奏形態による表現の特徴を理解し、そのよさを生かしながら、他者と調和して創意工夫した音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 b:音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、グループで音楽表現を創意工夫している。 c:表現活動及び他者と音楽をつくり上げる喜びを味わいながら主体的・協働的に活動に取り組もうとしている。	実技テスト	実技テスト	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度